



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・
チャリティーズ・ジャパン
年間報告書2016



財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で20万人に及んでおり、

その難病の子どもを持つ家族まで数えると、

悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。

これらの家族は、子どもが入院すると、

自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、

家族が離れて暮らす精神的苦痛など、

大きな負担に悩まされることになります。

このような家族を少しでも支援するために、

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、

子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、

ボランティアによって運営するという活動をしています。

ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には360以上のハウスがあります。

以上のように、この公益財団法人は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを

目的としているのです。



財団の概要

名 称：公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

所 在 地：東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階

目 的：本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成
並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等
により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする

事 業：
①難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成
②難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業
③福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業
④前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業
⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業

設 立：平成11年4月1日

行 政 庁：内閣府

Contents

目次

- 1 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて
Ronald McDonald House Charities Japan
- 2 目次
Contents
- 3 ご家族からのメッセージ
Message from The Family
- 5 ご挨拶
Message
- 8 全国のハウス紹介
House Information
- 21 トピックス
Topics
- 31 海外レポート
Report from Volunteers
- 32 日本マクドナルド株式会社のサポート
Support from McDonald's
- 33 助成事業
Grants
- 34 決算報告
Financial Report
- 37 役員・選考委員名簿
Board of Directors, Councilors and Selection Members
- 38 サポーター紹介
Supporters

Message from The Family

ご家族からのメッセージ



ご家族からのメッセージ

1999年、息子の昂我(こうが)を帝王切開で出産しました。3,021グラムの大きな男の子でした。

しかし生まれてすぐに心臓病と判明し、生後5日目にドクターへりで岐阜の病院に搬送され、そこから長い闘病生活が始まりました。入院していた病院では、保護者の完全看護が義務付けられていて、仕事が忙しく出張の多い主人、近くに両親がいないという状況だったので、手伝ってくれる人はいませんでした。初めての子どもが生まれてすぐに病気と分かり体力的にも精神的にも厳しく大変な日々でした。厳しい水分制限があるので、思うように母乳をあげることができず、おなかをすかせて6人部屋で夜泣きする息子を抱っこして廊下に連れ出しあやしていたのを今でも覚えています。帝王切開後の傷も痛み、お風呂にもなかなか入れなくて心身ともに疲れ果て、この先どうなるんだろうと不安でいっぱいでした。



2001年、大阪の国立循環器病研究センターで大きな手術を受けました。このときは、病院近くのホテルに滞在しました。身体的には楽でしたが、経済的に心配で病院に相談をしたところ、3家族が宿泊できるアパートを紹介されました。費用は1日1000円と助かりましたが、一間に布団を敷いてお母さんたちが寝る共同生活だったため互いに気を遣いました。結局、いつ退院できるか分からない状況だったのでアパートを借りました。でも病院から帰宅後に一人で過ごす部屋では孤独感からネガティブになり毎日泣いてばかりでした。



2011年、息子が12歳の時、2週間入院することが決まり初めてドナルド・マクドナルド・ハウスを利用しました。初めてハウスに行ったときは、開放されたスペースにびっくり! プライバシーの守られたベッドルームと家族同士が話せる共有スペースがあり、まさに私が必要としていた空間がそこにあったのです。

病気の子どもを持つお母さんはいつも不安です。愛媛から来ているお母さんに知り合うと同じ四国から来ているというだけで安心したり、些細な会話だけどそれが実はとっても支えになったり…息子が小さい時に一緒に入院していた子のお母さんと、数年ぶりにハウスで再会した時はうれしかったです。



息子が大きな手術をした日が9.11のテロの日ということもあり、ボランティアの映像など目にすると気になっていました。おおさかハウスに宿泊すると毎日ボランティアさんの姿を目にして、仕事ならともかくボランティアなのに一生懸命活動しているなあ、自分もいつかボランティアをしたいなあと思っていました。

息子が思春期を迎えたとき、一緒に何かを始めたいと思い、思い切ってボランティアに誘いました。今まででは小さかったので親として私がリードしてきましたが、息子は14歳になり大きくなっていたので一緒にゼロからスタートして取り組めるものを探していました。それがこうちハウスでのボランティアのきっかけです。おおさか・すいたハウスの利用者ですが、こうちハウスのボランティアに参加したおかげでスタッフやボランティアの方を身近に感じることができ、与え与えられる人のつながりの大切さを学ぶことができました。

岡林 由希子(母)

中学2年の時、母に誘われてこうちハウスでのボランティア活動を始めました。ハウスにくると部屋の掃除をしたり事務作業を行ったりいろんな活動に参加していますが、何をやっていても楽しいです。特に始めた頃は、大学生のボランティアさんと一緒に活動をしていて、高校入試やその先の大学の話など現役の学生から直接聞くことができ、相談をいろいろしていました。

高校2年生になった今、弓道部の試合や練習があるので月に1回くらいしか来れませんが、この間は高校の友達を誘ってハウスのイベントに参加しました。一緒に来た友達も楽しいと言ってくれて嬉しかったです。高校を卒業したら美術系の大学に進学したいと思っています。県外の大学に進学してもまた戻ってきてボランティアを継続したいと思っています。

始めた頃はまだ中学生だったのでやらされている感じたこともありました、大学生と出会い交流し、外にでて人からいろんな話を聞く楽しみを知りました。ハウスでのボランティア活動が自分自身のいろんな力になったと思っています。

岡林 昂我(息子)

Message

ご挨拶



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
理事長

柳澤 正義

2016年は、東京都世田谷区に日本で初めて「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや」をオープンしてから15周年となる節目の年であり、また1年の間に神戸と埼玉に2つのハウスをオープンしたという記念すべき年ともなりました。

5月に、兵庫県立こども病院が神戸市須磨区からポートアイランドへ、そして12月には、埼玉県立小児医療センターが岩槻市からさいたま新都心駅前に新築移転するのに伴い、家族のための滞在施設を病院側で新たにご準備いただき、弊財団に運営を委託するという形で、神戸ハウスとさいたまハウスがオープンしたことは、この15年間の歴史を経て、ドナルド・マクドナルド・ハウスのような施設の必要性とハウス運営の実績を、ご評価いただいた証と大変光栄に存じております。

お陰さまで、全国で12ハウス、計168室となり、2016年は6,615家族、15,872人の患者ご家族に、延べ37,464泊ご利用いただき、家族が入院中の子どもと一緒に過ごす時間を提供することができました。

また、2016年は、全国のドナルド・マクドナルド・ハウスを支えていただいているボランティアの皆様はじめ、広く医療ボランティアに関しておられる方々にお集まりいただき、ボランティアフォーラムを開催し、改めて、日ごろの感謝をお伝えすると同時に、ボランティアが医療において重要な役割を果たしていることを再認識する場にもなりました。今後とも、各地域の2,000名を超えるボランティアの皆様とともに病院のすぐそばでハウスを運営してまいります。

日本の小児医療の中で、小児がん治療をはじめ高度専門的医療を必要とする子ども達の医療は、ご自宅から遠く離れた大学病院や小児病院等、高度専門医療施設への集中化・拠点化を進める方向となっており、そのような病院に入院する子ども達に付き添う家族にとって、ドナルド・マクドナルド・ハウスは無くてはならない存在となっております。現在ある12のハウスの運営のため、またこれから13番目14番目のハウスを設置していくために、企業の皆様、個人の皆様からの一層のご支援ご協力をお願いしております。何とぞよろしくお願い申し上げます。



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
専務理事

廣瀬 修

2016年、我が国に最初のハウスが開設され15年目という記念となる年でした。その年に、兵庫県立こども病院そして埼玉県立小児医療センターという2つの由緒あるこども病院よりハウスの誘致を受け、ハウスを開設できたことは非常に喜ばしいことです。そしてこの2ハウスに合わせて500名以上の地域のボランティアの方が、何かお手伝いをしたいと集まり、それぞれの地域の小児医療に対する意識の高さを感じました。

2つの地域にハウスを開設して間もない時期より、地元の企業から支援のお申し出をいただくようになり、ハウスの認知が向上し日本でも寄付文化が根付いてきたと実感しております。ようやく欧米諸国の背中が見えてきたところでしょうか。さらにこれまで、支援をいただいている企業からも新たな寄付方法をご提案いただき、自動販売機を使っての寄付活動や走って楽しみながら寄付をするイベントなど新しい取り組みも行ってまいりました。企業だけでなく、一般の方々をも巻き込み、1つ1つは小さいが多くの力を集結して病気の子どもとその家族を支援いたしました。

来年からは熟成期として、いまある12のハウスの財務基盤をしっかりと固め、永続的な収入源を得られるような仕組みづくりを行いたいと考えています。しかしながら全国的にハウスを必要としているご家族はいらっしゃいます。財政基盤をしっかりと整えたのちに、新たなハウスが開設できるように、今後も努力してまいります。

これからも微力ではありますが、私どものこの活動が多くの方に理解していただけるように精一杯頑張ってまいります。

今までご協力ご支援いただいた多くの皆様に厚くお礼を申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。



埼玉県立小児医療センター
病院長

岩中 督

埼玉県立小児医療センターは、1983年に旧岩槻市(現さいたま市岩槻区)に開設され、埼玉県の唯一の小児専門病院として、小児の高度急性期医療、小児保健・発達支援などの活動をしてまいりました。施設の耐震化の問題や老朽化、狭隘化を解決するため、2016年12月27日、さいたま新都心に完成した新病院へ移転しました。旧病院時代は、遠方からの患者さんご家族に、職員公舎を一部改装した家族滞在施設ならびに近隣のウエークリーマンションを廉価に提供してきましたが、新病院では国内12施設目となるさいたまハウスを、国内初のビルトイン方式で新病院6階に開設することができました。公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの皆様をはじめ、ご支援くださった多くの方々に深謝申し上げます。

新病院の特徴は、何といっても隣接するさいたま赤十字病院との連携による、高度先進的医療の提供です。特に、赤十字病院産婦人科との協働による総合周産期母子医療センターは胎児・新生児の諸疾患のみならずハイリスク妊婦の対応をも可能にしました。また、県内2施設目となる小児救命救急センターも、新設された小児集中治療科と連動し、開院直後から大活躍をしています。また埼玉県内ののみならず、北関東・信越地域をカバーする小児がん拠点病院として、28床の無菌病棟(無菌室4床・準無菌室4床を含む)を準備し、国内で最もたくさんの小児がん患者の治療にあたっています。

入院中の子どもたちは、非日常の病院生活の中で少しでも多くの日常に接する必要があります。新病院内にビルトインで設置された7階の「けやき特別支援学校」における学校生活と合わせ、同じ屋根の下で家族と一緒にいられるという幸福感を提供してくれるさいたまハウスのおかげで、子どもたちは入院中にもかかわらず、日常生活をエンジョイしてくれていると確信しています。さいたまハウスを支えて下さっている支援者の方々やボランティアの方々に深く感謝しつつ、病める子どもたちを一人でも幸せにするために、職員一丸となって頑張っていく所存です。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

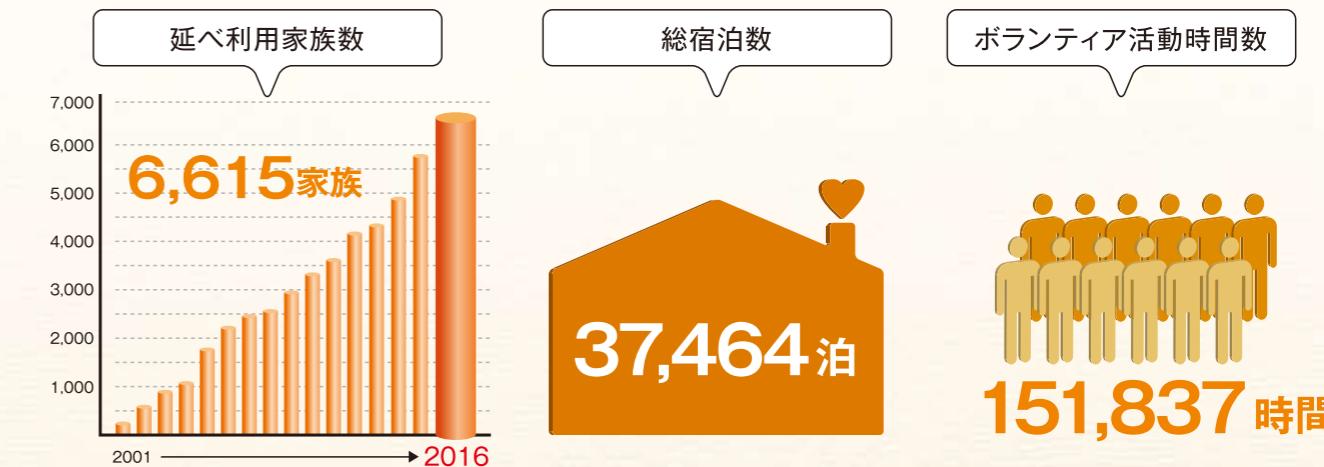
House Information

全国のハウス紹介



ドナルド・マクドナルド・ハウスの利用状況

2016年実績



利用者からのメッセージ 佐野 麻寿美さん 開智(かいち)くん

自宅は秋田ですが、病院を探す上でハウスの存在も大きな決め手になりました。初めて利用したとき、スタッフやボランティアの方がとても温かく迎えてくださって、落ち込みがちな気持ちが楽になりました。歩いて3分で我が子のもとに行けて、きちんとした環境で休めて、親子ともに良いサイクルで過ごせるのはハウスがあってこそ。付添う側が元気でいることも大事だと思うので、本当にありがとうございます。



外泊許可が出たときは、息子もハウスに泊まっています。遠く離れた自宅へ連れて帰るのは難しいですが、ハウスなら安心。息子自身も、「ハウスに来るとなつとする」と言っていて、「今週も泊まりに行けるといいな」と楽しみにしています。病院でも家でもない「第二の我が家」というのはまさにその通り。入院生活の気分転換をさせてあげられることが、親としてとても嬉しいですね。まだハウスのことを知らない方も多いので、困っている方にもっと知ってもらいたいです。

● ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや



〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-10
電話:03-5494-5534 FAX:03-3749-2267

施設概要

2001年12月に誕生した国内第1号の「せたがやハウス」
国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。
小児ベッド数が490床ある国立成育医療研究センターには、全国各地から患者が入院または通院しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,744.29m²
- 規模:地上4階建て、地下1階
- ベッドルーム数:23室

Message

非常に多くの患者さん達を全国からご紹介いただきますため、当センターにとって、せたがやハウスはなくてはならない施設となっております。2015年に2室を増設し、合計23室で運用していただいていますが、その後も、時には、月平均90%以上の稼働率となり、利用をお断りせざるを得ない場合もあるようです。せたがやハウスは、単なる宿泊施設ではなく、遠方から来られる患者家族の方々の心の支えの一つでもあり、治療の一部と言っても過言ではありません。財団と運営スタッフ・ボランティアの方々に、心より御礼申し上げます。

国立成育医療研究センター 病院長
賀藤 均



収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 10,064,760	利用料 10,882,000
水道光熱費 5,539,347	寄付金収入(運営費) 10,212,295
租税公課 4,543,900	会費収入 1,333,000
その他 14,571,689	その他 5,990,638
ハウス繰越金 0	運営補填金(財団内) 6,301,763
合計 34,719,696	合計 34,719,696

2016年実績

- 利用家族数:978家族
- 総宿泊数:7,075泊
- 平均滞在日数:7.2日
- ボランティア登録者数:183名
- ボランティア活動時間数:16,492時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい



〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
電話:022-391-1233 FAX:022-392-5535

施設概要

2003年11月に誕生した国内第2号目の「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は241床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,679.36m²
- 規模:共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数:16室

Message

楽天イーグルスでは毎年「ドリームシート」というシートを通じて、「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい」の子ども達とそのご家族をKoboパーク宮城での試合にご招待させていただいております。野球観戦を通して、病気と闘う子ども達とそのご家族に勇気を与え、病気に負けない気持ちを持っていただけるよう、我々も一緒に闘っています。



東北楽天ゴールデンイーグルス 球団社長
立花 陽三



収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 9,480,675	利用料 5,349,000
水道光熱費 5,915,069	寄付金収入(運営費) 6,794,789
租税公課 1,629,400	会費収入 1,095,000
その他 6,314,791	その他 1,091,435
固定資産支出 334,800	運営補填金(財団内) 9,344,511
ハウス繰越金 0	
合計 23,674,735	合計 23,674,735

2016年実績

- 利用家族数:1,096家族
- 総宿泊数:3,595泊
- 平均滞在日数:3.3日
- ボランティア登録数:206名
- ボランティア活動時間数:15,439時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち



〒781-0111 高知県高知市池953-10
電話:088-837-3650 FAX:088-837-3652

施設概要

2005年2月に誕生した国内第3号目の「こうちハウス」は同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が滞在しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,180.72m²
- 規模:平屋建て
- ベッドルーム数:16室

Message

病院のそばに、温かい人たちに支えられた安らぎの「こうちハウス」があることで、利用されるご家族の様々な負担が軽減され、病気と闘う活動を取り戻すことができます。病気のお子さんとご家族にとって大変重要なハウスです。看護局では、ハウスの紹介DVDを作成するなど、広報活動に力をいれ利用促進に取り組んできました。これからもハウスの存在意義を伝え、子どもたちとそのご家族が元気と笑顔を取り戻せる施設であり続けるよう、皆で力を合わせて活動していきます。

高知医療センター 看護局長

田鍋 雅子



収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	8,444,748
水道光熱費	2,639,098
租税公課	123,800
その他	4,042,314
ハウス繰越金	0
合計	15,249,960
利用料	1,357,000
寄付金収入(運営費)	2,685,062
会費収入	375,000
補助金(高知県)	1,368,000
運営補填金(財団内)	9,373,296
合計	15,249,960

2016年実績

- 利用家族数:286家族
- 総宿泊数:997泊
- 平均滞在日数:3.4日
- ボランティア登録者数:70名
- ボランティア活動時間数:11,254時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた



〒565-0875 大阪府吹田市青山台4-31-20
電話:06-6836-6551 FAX:06-6831-7611

施設概要

2005年10月に誕生しました国内4号目の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターは小児病院ではありませんが、全国から心臓病の患児が入院または通院に来ています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、ハウス建設が実現しました。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,292.88m²
- 規模:共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数:18室

Message

平成31年、国立循環器病研究センターがJR岸辺駅前の北大阪健康医療都市(健都)に移転するため、「おおさか・すいたハウス」も合わせて健都に移転できるかが大きな課題となっています。吹田市民のハウス利用は想定されませんが、お困りの方がどこにお住まいであるかは関係ありません。吹田市では、ハウス移転支援のために基金を設け、寄付の声掛けをしています。2億円というとても大きな目標ですが、日々、寄付一つひとつのあたたかいお気持ちに感動し、また、少しずつ支援の輪が広がっていることを感じています。来年には、寄付の目標に達し、移転の目途が立ったことを皆様と喜びあえるよう、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、移転へのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吹田市長

後藤 圭二



収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	9,294,062
水道光熱費	4,703,136
租税公課	3,833,000
その他	4,021,543
固定資産支出	131,760
ハウス繰越金	0
合計	21,983,501
利用料	7,460,000
寄付金収入(運営費)	4,311,742
寄付金収入(移転プロジェクト)	4,026,831
会費収入	1,051,000
補助金(吹田市)	3,145,900
その他	1,360,231
運営補填金(財団内)	627,797
合計	21,983,501

2016年実績

- 利用家族数:425家族
- 総宿泊数:5,300泊
- 平均滞在日数:12.5日
- ボランティア登録者数:168名
- ボランティア活動時間数:15,288時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ



〒329-0434 栃木県下野市祇園2-36-3自治医大2号館3階
電話:0285-58-7551 FAX:0285-44-4154

施設概要

2006年9月に誕生しました国内第5号目の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。2013年には増室工事を行い、7室だったハウスが10室になりました。

ハウス情報

- 延べ床面積:652.9m²
- 規模:3階建ての3階部分
- ベッドルーム数:10室

Message



とちぎハウス開設10周年おめでとうございます。私は、縁あって、平成18年10月開設当初からとちぎハウス運営委員を務めてまいり、先日11年目に入りました。運営委員として10年前に運営のルール作りを行いました。例えば、1部屋料金ではなく、1人1日1000円と定めたことや、ハウスからのご自宅の距離を見るときに行政区単位ではなく、とちぎハウスを中心に円を描いて30km圏とか40km圏とか実質の距離によって定めたこともよかつたと思われます。今後、ハウスの運営に係る法律問題が発生したときは、微力ながら意を注ぎたいと考えております。とちぎハウスの益々のご発展をお祈り申し上げます。

稲葉勉法律事務所長 弁護士

稲葉 勉



収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	8,620,627
水道光熱費	2,081,479
その他	2,854,364
固定資産支出	496,800
ハウス継越金	2,396,626
合計	16,449,896
合計	16,449,896

2016年実績

- 利用家族数:384家族
- 総宿泊数:2,770泊
- 平均滞在日数:7.2日
- ボランティア登録者数:231名
- ボランティア活動時間数:17,733時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ



〒006-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目2-5
電話:011-688-4533 FAX:011-691-8866

施設概要

2008年12月に誕生しました国内第6号目の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター(通称:コドモックル)の向かい側に開設されました。コドモックルは215床あり道内からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:994.2m²
- 規模:平屋建て
- ベッドルーム数:10室



Message



北海道で病気と闘う子どもさんとご家族にとって「ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ」は心強い支えになっています。ハウスを運営されている皆さま、多くのボランティの皆さまのご苦労にあらためて敬意を表します。来年は創設10周年を迎えます。弊社も一昨年、昨年と企画運営させていただいたハウス応援イベントを今年も開催し、多くの北海道の皆さまに「ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ」を知っていただき、ハウスの運営に少しでもお役に立ちたいと考えています。

株式会社朝日サービス 代表取締役社長
丸山 清光

収支報告 (単位:円)

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	8,381,974
水道光熱費	3,893,249
租税公課	995,200
その他	3,644,403
ハウス継越金	0
合計	16,914,826
合計	16,914,826

2016年実績

- 利用家族数:496家族
- 総宿泊数:1,646泊
- 平均滞在日数:3.3日
- ボランティア登録者数:236名
- ボランティア活動時間数:14,400時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう



〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9-2
東京都立多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
電話:042-300-4181 FAX:042-325-2266

施設概要

2010年3月、東京都府中市に日本第7号目のふちゅうハウスがオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、東京都の宿舎棟の1階部分を無償でお借りし、12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:688.3m²
- 規模:5階建ての1階部分
- ベッドルーム数:12室

Message



都立神経病院の神経小児科は、ジストニアや脳炎、末梢神経・筋疾患など多岐にわたる難治性疾患の患者さんの治療を行っています。最近では、遠方から受診される方も多く、「ふちゅうハウス」には大変お世話になっています。

昔から、「親思う心に勝る親心」と言う言葉がありますが、病児であればなおさらその思いは強いと思います。そうした親御さんの思いを、そっと包み込んでくれる「ふちゅうハウス」は、私たち医療者にとっても頼りになる存在です。

都立神経病院 院長
磯崎 英治

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 9,143,845	利用料 3,617,000
租税公課 111,200	寄付金収入(運営費) 5,255,919
その他 2,983,043	会費収入 369,000
固定資産支出 270,000	その他 495,370
ハウス継越金 0	運営補填金(財団内) 2,770,799
合計 12,508,088	合計 12,508,088

2016年実績

- 利用家族数:408家族
- 総宿泊数:2,395泊
- 平均滞在日数:5.9日
- ボランティア登録者数:167名
- ボランティア活動時間数:10,996時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大



〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
電話:03-3812-9877 FAX:03-3812-9688

施設概要

2011年12月、日本で最初のハウスが誕生して10年を記念して、東京大学構内に日本第8号の東大ハウスがオープンしました。東京大学医学部附属病院の隣接地に建てられたハウスは、4階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:974.64m²
- 規模:4階建て
- ベッドルーム数:12室

Message



日本で8番目のドナルド・マクドナルド・ハウスとして開設してから、早いもので5年たち運営もすこぶる順調であります。入院された小児患者のご家族にとって、長期の付き添いや通院は精神的・肉体的・経済的にも大きな負担であります。ハウスマネージャー・スタッフ・ボランティアの皆様の献身的なサポートによりご家族もかなりの負担の軽減になっていると思います。これからも「お子さんと家族のための第二のわが家をめざして」をモットーに支援して行きたいと思います。

東大ハウス運営委員
日本マクドナルドフランチャイジー 株式会社 遊
渡辺 政弘

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当 8,926,643	利用料 4,776,000
水道光熱費 2,137,107	寄付金収入(運営費) 5,931,890
租税公課 5,292,830	会費収入 678,000
その他 3,967,515	補助金(好仁会) 1,000,000
ハウス継越金 0	その他 743,434
合計 20,324,095	運営補填金(財団内) 7,194,771
	合計 20,324,095

2016年実績

- 利用家族数:349家族
- 総宿泊数:3,084泊
- 平均滞在日数:8.8日
- ボランティア登録者数:223名
- ボランティア活動時間数:15,227時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや



〒466-0065 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 名大病院構内
電話:052-744-0203 FAX:052-741-7707

施設概要

2013年11月に誕生した国内9号目となる「なごやハウス」は中部地方で初めてのハウスとして誕生しました。名古屋大学医学部附属病院構内に建てられたハウスは、3階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,192m²
- 規模:3階建て
- ベッドルーム数:12室



Message



なごやハウスは、2017年1月で4年目を迎えました。施設を利用してい る患者さんから、「楽しかった」「ハウスに泊まるのが楽しみ」「病院の 敷地内にあるので安心」との声が多く聞かれます。特に遠方から紹介 されて長期入院されている患者さんが多く、我が家のように寛げる場 所として、今ではなくてはならない施設となっております。ボランティア の方をはじめ関係者の皆様のおかげです。今後とも宜しくお願い申し 上げます。

名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学 教授

高橋 義行



収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	8,701,649
水道光熱費	3,203,725
租税公課	2,545,600
その他	4,218,582
ハウス繰越金	0
合計	18,669,556
利用料	3,975,000
寄付金収入(運営費)	8,443,299
会費収入	330,000
会費収入	330,000
運営補填金(財団内)	5,339,353
合計	18,999,556

2016年実績

- 利用家族数:581家族
- 総宿泊数:2,488泊
- 平均滞在日数:4.3日
- ボランティア登録者数:168名
- ボランティア活動時間数:11,450時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか



〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉5-1-2
電話:092-692-2031 FAX:092-692-9087

施設概要

2015年5月に誕生した国内10号目となる「ふくおかハウス」は九州地方で初めてのハウスとして誕生しました。福岡市立こども病院の敷地内に建てられたハウスは、2階建てで16家族が滞在可能です。



ハウス情報

- 延べ床面積:1385.85m²
- 規模:2階建て
- ベッドルーム数:16室



Message



福岡市立こども病院は、昭和55年9月西日本唯一の小児総合医療施設として中央区唐人町に開院しました。平成26年11月に福岡市東区香椎照葉に移転後、多くの方から寄付を頂き、平成27年5月に国内10番目のハウスとして、病院敷地内にふくおかハウスが誕生しました。今日に至るまで延べ3,480人以上の患者家族の方にご利用頂き大変好評を得ております。ご利用されるご家族を温かく迎えてくれるスタッフボランティアの皆様に感謝申し上げます。今後とも、皆様のご支援・ご協力、よろしくお願い申し上げます。

福岡市立こども病院 院長
原 寿郎

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	8,475,575
水道光熱費	4,978,775
租税公課	5,762,650
その他	3,538,791
固定資産支出	270,000
ハウス繰越金	0
合計	23,025,791
利用料	8,067,000
寄付金収入(運営費)	5,150,376
会費収入	105,000
その他	1,147,936
運営補填金(財団内)	8,555,479
合計	23,025,791

2016年実績

- 利用家族数:884家族
- 総宿泊数:4,755泊
- 平均滞在日数:5.4日
- ボランティア登録者数:170名
- ボランティア活動時間数:11,730時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸



〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目6-7
電話:078-302-7222 FAX:078-302-7223

施設概要

2016年5月に誕生しました国内11号目の「神戸ハウス」は、兵庫県立こども病院の移転に伴い、兵庫県によって整備されました。メディカルエリアに開設されたハウスは、病院に隣接され3階建てで16家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:1249.5m²
- 規模:3階建て
- ベッドルーム数:16室

Message

道元禅師は「而今(じこん)」という言葉を残しています。その意味は「今、この一瞬、自分にできることを全力で全うする」です。この而今をスタッフとボランティアの皆さんが正に実践しているドナルド・マクドナルド・ハウス。神戸ハウスのオープンを契機に兵庫医療大学の学生達も、この素晴らしい活動の中に飛び込みました。これからも、利用者の子ども達、ご家族のお役に立てるように神戸ハウスの而今を支援させていただきます。

兵庫医療大学 副学長
前田 初男



収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	7,638,746
水道光熱費	1,855,839
その他	8,093,753
固定資産支出	5,062,003
ハウス継越金	11,115,151
合計	33,765,492
合計	33,765,492

2016年実績 (5月～)

- 利用家族数:478家族
- 総宿泊数:3,345泊
- 平均滞在日数:6.9日
- ボランティア登録者数:259名
- ボランティア活動時間数:11,688時間

● ドナルド・マクドナルド・ハウス さいたま



〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2
埼玉県立こども病院6階
電話:048-601-0123 FAX:048-601-0126

施設概要

2016年12月に誕生しました国内12号目の「さいたまハウス」は、埼玉県立小児医療センターの移転に伴い整備され、国内では初めての病院内に開設されたハウスです。埼玉県立小児医療センターは、316床あり小児救命救急医療が強化された病院のため、多くの患者が入院または通院しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:591m²
- ベッドルーム数:7室

Message

長期の入院を必要とする病気のお子様を抱える家族の方々が、子どもさんたちと離れることなく時間を過ごすことができる場所、そして治療に対して前向きに取り組んで行ける希望と安らぎの場所、そのような施設、ドナルド・マクドナルド・ハウスの大切さをひとりでも多くの方に知って頂けるような活動を微力ながらお手伝いさせていただいております。



株式会社山全フーズ 代表取締役

小黒 好男

2016年実績 (12月27日～)

- 利用家族数:3家族
- 総宿泊数:14泊
- 平均滞在日数:4.6日
- ボランティア登録者数:257名
- ボランティア活動時間数:140時間

収支報告 (単位:円)

▼支出	▼収入
給与手当	1,935,684
その他	6,911,766
固定資産支出	4,211,827
ハウス繰越金	0
合計	13,059,277
合計	13,059,277

「ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸」 お披露目会&チャリティーパーティー

4月26日(火)国内第11号となる「ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸」が完成し、関係者をご招待してのお披露目会が行われました。兵庫県立こども病院が須磨から移転するに伴い、付添家族の滞在施設が必要ということで、兵庫県がハウスを整備し誕生した神戸ハウス。完成了ハウスを多くの方に見ていただこうとお披露目会を実施いたしました。

兵庫県立こども病院の長嶋達也院長、日本マクドナルド株式会社サラ・カサノバCEO、神戸に本社がありこれから神戸ハウスを支援していただくこととなったUCCホールディングス上島達司会長よりお祝いの言葉をいただき、さらにハウスを支えるボランティアを激励いただきました。これからのハウスの運営を託す意味で、長嶋院長よりハウスマネージャーへ大きなハウスの鍵が贈呈されるセレモニーも行われました。

同日の夜には神戸ハウスのオープンを記念してこれからみんなでハウスを支援しよう！という意味も込めて、ワーキンググループ主催のチャリティーパーティーが開催され、日本マクドナルドのフランチャイズオーナーやお取引先企業の皆さん、病院関係者など総勢117名が集まり、585,000円の寄付が神戸ハウスに手渡されました。

5月1日より神戸ハウスは運営を開始し、多くのご家族にご利用いただいている。



おおさか・すいたハウス移転プロジェクト キックオフ

おおさか・すいたハウスが支援している国立循環器病研究センター(国循)が2019年に北大阪健康医療都市(健都)へ移転します。移転して離れてしまうと利用される方に大きな負担となるため、ハウスの移転に向けた取組がスタートし、国循に新ハウス建設用地を、吹田市に移転費用(約3.5億円)を確保していただけることになりました。この移転費用の一部を賄うために、2017年度末までに2億円を募金で集めるためのプロジェクトが立ち上がり、国循や吹田市、関西の経済界、医療関係者等で構成される「おおさか・すいたハウス移転支援募金委員会」が組織され、5月17日(火)に開催された第1回委員会では、それぞれの委員が移転支援に向けた決意を新たにしました。その後、募金委員会メンバーによる呼びかけやイベント等でのPRなどにより、2017年2月13日現在で161,118,428円の寄付が集まっています。



せんだいハウス リフレッシュプロジェクト 完成お披露目会

6月23日(木)、せんだいハウスにてリフレッシュプロジェクト完成お披露目会が行われました。

オープンから13年が経過したせんだいハウスは、経年劣化による設備工事そのため、2,000万円の資金が必要となり、2014年2月、リフレッシュプロジェクト募金委員会を立ち上げ募金活動を開始しました。おかげさまで、多くの皆さまからのご支援をうけ、20,957,493円もの寄付が集まり、リフレッシュ工事も無事完了しました。今回のリフレッシュ工事では、空調設備の交換工事、中庭フェンスの塗り替え、ダイニングやブレイルームなどの共有スペースの壁紙の貼り替えなどを行い、新しくなったせんだいハウスを支援いただいた皆さんに見ていただきました。

ハウスを利用されている患者家族の花田さんもお披露目会に参加され、ハウスにメッセージを送ってくれました。「2015年11月から2年位の予定で入院と手術ということで、長期入院になるのに、青森と仙台の往復が果たして可能なのか悩み、不安ばかりがつきました。ハウスを利用して、うちよりもハウスでの滞在が長くなる中で、さりげないおもてなしと目に見えない温かさに支えられました。子どもも週末はハウスで過ごしつづいています。以前のアイボリーの壁紙も大好きだったけれど、新しい壁紙を見て、生きる希望や前向きになれるように心理面からも支えられるようにしてくれているのだと感じ、子どもがハツラツと遊んでいる姿を見て、嬉しく思いました。初めに抱いていた不安が希望に変わっていきました。

ここでの時間が大切な思い出です。どんなホテルよりも素晴らしいさりげないおもてなし。それが、このハウスにあります。

この空間を与えてくださった方々に感謝申し上げます。」

リフレッシュ工事の完成で、ご家族にはさらに安心してハウスに滞在していただけるようになりました。



「ドナルド・マクドナルド・ハウス さいたま」 お披露目会&チャリティーパーティー

埼玉県立小児医療センターは岩槻よりさいたま新都心に移転し、隣接するさいたま赤十字病院と緊密に連携をとるため、子どもから大人まで対応できる医療拠点となります。埼玉県内外から多くの患者さんが利用されるとのことで、病院内に家族が滞在できる設備を整備されました。そして11月28日(月)、国内第12号で初の病院ビルドインタイプとなる「ドナルド・マクドナルド・ハウス さいたま」が完成し、関係者をご招待してのお披露目会が行われました。

埼玉県立小児医療センターの岩中督病院長、日本マクドナルド株式会社サラ・カサノバCEO、元サッカー日本代表の北澤豪さんにお越しいただき、また上田埼玉県知事からはお祝いのメッセージをいただきましたなど豪華な式典となりました。当日はスペシャルゲストとして日頃よりハウスを支援いただいているアーティストの石井竜也さんにも駆けつけていただきました。2015年、国内に10ハウスができたことを記念して石井さんが作ったハウスのテーマソングである「ウタノチカラ」を集めてくださった皆さまのために披露してくださいました。

お披露目会終了後には、ワーキンググループ主催のチャリティーパーティーも開催され、さいたまハウスのサポートとなる皆さまが161名集まり、この日だけで1,080,000円の寄付が集まりました。

12月27日(火)よりご家族の受け入れが始まり、年末年始を病院で過ごさなくてはいけない患者家族の方にハウスを利用していました。



第18回ドナルドマクドナルドハウス チャリティゴルフ

12月12日(月)ハウスの支援目的としたプロアマチャリティゴルフが日高カントリークラブにて開催されました。プロ34名を含む、総勢132名が参加し、ドナルドの始球式で始まる毎年恒例のイベントとなりました。日本工学院の学生も参加し、プレー後のマッサージサービスや当日の様子を紹介するホームページの作成など支援活動を行っています。

表彰パーティーではプロの皆さまからご提供いただきましたゴルフバックやウェアなどでオークションも行い、参加された皆さまからいただきました寄付金と合わせて9,444,870円が贈呈されました。



北澤豪プロデュース、 チャリティフットサル大会

9月26日(月)「ドナルド・マクドナルド・ハウス支援 北澤豪プロデュースチャリティフットサル大会in代々木」が国立代々木競技場フットサルコートで開催されました。

ハウスのサポートである元サッカー日本代表の北澤豪さんがフットサルを通じてハウスをより深く知っていただき、支援の輪を広げることを目的に昨年に引き続きプロデュースしてくださいました。

今年は昨年の16チームを上回る20チーム、190名の方がハウス支援のために集まってくれました。

出場者の皆さんにはハウスサポートの証である赤白のスマイルソックスを履いていただき、敵味方の垣根を越えた一体感が会場全体にあふれています。閉会式では北澤さんから「スポーツを通してチャリティーを行うことで、いまスポーツができない子ども達も病気が治つたらスポーツをやりたいという前向きな気持ちになってもらえると思うし、それが病気に立ち向かう力になると思います。僕一人ではこのような大きな力にはならなかったと思うので今回協力いただいた皆さんには本当に感謝しないといけないと思っています。」とお話しいただきました。

今回のチャリティフットサル大会では、571,800円の寄付が集まりました。



ドナルド・マクドナルド・ハウス15周年 Charity Relay Run

5月21日(土)、ハウス誕生15年を記念し、Charity Relay Runを味の素スタジアムで開催しました。親子ランそして3時間リレーの2種目に1,272名が参加されました。当日は元マラソン選手の有森裕子さん、ランニングプロデューサーの坂本雄次さんがスペシャルセンターとして駆け付けてください、大会を盛り上げてくれました。午後の3時間リレーでは、ハウスを利用した経験のある患者家族の佐藤奈津さんが開会宣言を行い、病気と闘う幹汰くんもご家族と一緒にステージに立ち、これから走るみんなにエールを送ってくれました。

162チームが参加した3時間リレーで見事一位になったのは「ザ・ドリームス」の皆さん。3時間の間に28周56kmを走り、フルマラソンに換算すると2時間14分で完走という驚異的な速さでした。お天氣にも恵まれ、家族や友達で参加できる楽しいチャリティーイベントとなりました。

当日の運営は多くのボランティアの皆さんに運営をお手伝いいただきました。会場ではチャリティマルシェが開催され、参加費を含め2,758,613円もの寄付そして募金が集まりました。



東京マラソン2016 チャリティの寄付先団体へ

「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催されている東京マラソンは、2011大会から、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、チャリティを実施されています。13のチャリティ事業(寄付先事業)の中からチャリティランナーやセンターが支援先を選択できるシステムで、寄付金は東京マラソン財団を通じて、各寄付先団体に届けられます。

当財団は、東京マラソン2014チャリティから3年連続で寄付先団体に選ばれ、2月28日(日)に開催された東京マラソン2016では371名のチャリティランナーがドナルド・マクドナルド・ハウス支援のためにフルマラソンにチャレンジされました。沿道では約400名の大応援団が17カ所に分かれ、大きな声援でランナーの背中を後押ししました。

東京マラソン2016チャリティを通じて40,041,280円のご寄付が集まり、全国のハウスの運営費と2016年に開所した神戸ハウス、さいたまハウスの準備に充てられました。

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは東京マラソン2017チャリティ事業の寄付先団体です。
東京マラソン2017チャリティ公式ウェブサイトアドレス <https://runwithheart.jp/>

♥著名人の訪問

東大ハウス

1 / 11 (月・祝) 埼玉西武ライオンズ 中村剛也選手



さっぽろハウス

3 / 28 (月) 長野オリンピック金メダリスト
元スピードスケート選手 清水宏保氏



せたがやハウス

12 / 8 (木) 読売ジャイアンツ
亀井善行選手、澤村拓一選手



せんだいハウス

1 / 24 (日) 東北楽天ゴールデンイーグルス
桥田慎太郎選手、西田哲朗選手



ふくおかハウス

8 / 25 (木) プロゴルファー
深堀圭一郎プロ



さっぽろハウス

11 / 28 (月) ソチオリンピック銅メダリスト
フィギュアスケート
ジェイソン・ブラウン選手



せんだいハウス

12 / 13 (火) 東北楽天ゴールデンイーグルス 銀次選手



♥アニバーサリーイベント

せたがやハウス15周年ボランティアフォーラム



2001年12月1日、国内第1号のドナルド・マクドナルド・ハウスが、東京都世田谷区に誕生して今年で15周年。これを記念して「ボランティアフォーラム」を開催いたしました。

災害ボランティア、自然や環境ボランティア、国際協力ボランティア、まちづくりボランティアなど、「ボランティア」という言葉は身近なものとなり、多くの方が様々なボランティア活動に参加していますが、その中でも、医療に関わるボランティアも増えてきており、病院ボランティアや患者家族を支援する活動など多岐にわたっています。医療に携わるボランティアがどのように医療を支え、どのような影響を与えていているのか、また参加しているボランティアが何を感じて活動に参加しているのかを、参加者138名で考えてみました。

日時:2016年12月1日(木)11:00~12:30
場所:国立成育医療研究センター 講堂
参加対象:ハウスのボランティア、病院ボランティア、企業ボランティア、学生、一般など

アジェンダ

「日本のボランティア活動」
国際医療福祉大学 准教授 大石剛史氏
「ドナルド・マクドナルド・ハウスでのボランティア活動」
ドナルド・マクドナルド・ハウス ボランティア
深作多恵子氏、松下真衣氏
「企業としての使命」
日本マクドナルド株式会社 CEO サラ・カサノヴァ氏
「スポーツを通じてのチャリティー活動」
元サッカー日本代表 北澤豪氏
「医療に携わるボランティア」パネルディスカッション
マギーズセンター 共同代表理事 秋山正子氏
ドナルド・マクドナルド・ハウス財団 理事 長瀬淑子氏
もみじの家 ハウスマネージャー 内多勝康氏
聖路加国際病院 ボランティアコーディネーター 竹内和泉氏
ファシリテーター:ドナルド・マクドナルド・ハウス財団 評議員
フリーアナウンサー 宮田佳代子氏
「ボランティアが医療に与える影響」
国立成育医療研究センター 理事長 五十嵐隆氏



とちぎハウス10周年感謝の会

2006年、自治医大とちぎ子ども医療センターと一緒にオープンしたドナルド・マクドナルド・ハウスとちぎは今年で10周年を迎え、9月18日(日)にボランティアの皆さん、支援者の方々、病院の関係者、地域の住民の方をお招きして感謝の会を開催しました。

普段ハウスを直接支えてくださるボランティアさんへの感謝状贈呈式では、10年継続者32名に感謝状が自治医科大学理事長名で授与されました。代表で10年継続の原口さんから「今では自分にとって第二の我が家になっています。ある日ハウスで食事を作っていたら、帰ってきた利用者の方にありがとうございますと手を合わせてお礼を言われ、とっても感動しました。このことを家族に話したら何よりのご褒美だねと言ってくれたのも、忘れられない出来事でハウスで活動する原動力になっています。これからも初心を忘れず、ハウスの理念を理解し活動していきたいと思っています。また一緒に活動してくださる方を増やしていくことも大切な役割ではないかと改めて思っています。」とのご挨拶をいただきました。



東大ハウス5周年感謝の会



東大ハウスは開設5周年を迎え、12月8日(木)に「5周年感謝の会」を開催しました。東京大学医学部附属病院の病院長である齊藤延人先生は、祝辞とともに、今後、小児医療に対する病院施設を拡充することを語り、ハウスに対するさらなる期待を述べられました。支援企業を代表して日本マクドナルド株式会社のカサノバCEOからは、ボランティアの皆さんに対し「皆さんにはヒーローです！」といううれしい言葉をいただきました。

5年ボランティア活動を継続された皆さんに感謝状と記念のバッジが渡され、これまで東大ハウスを支えてくださったことに対しての感謝の意が表されました。その後は軽食をいただきながら、東大ハウス5年間の歩みそして利用者の皆さまから届いた映像をみんなで観賞しました。日中ハウスで活動をしていても、利用者の方は病院で付き添いをしているため、利用者の皆さまの声を聞くことはとても貴重な機会でした。

東大ハウスに関わってくださっている多くの方にご参加いただきたくさんの感謝の気持ちに包まれた会になりました。

♥オープンハウス報告

せんだいハウス

日程:10月2日(日)

募金総額:135,615円

来場者数:182名

「病気の子ども達と地域の子ども達を応援する」をテーマにイベントを開催しました。地域の中学生、高校生、大学生がボランティアとして活躍し、新たな企画として的当てゲームやクイズ形式のハウス探検など学生が主体となって実施しました。また地域の農家協力によるとれたて野菜のチャリティー募金なども行いました。



ふちゅうハウス

日程:10月16日(土)

募金総額:833,921円

来場者数:262名

ハウス、家族、病院、地域、支援者がつながることをテーマに「ふれ愛フェア」として実施しました。ドナルドショーをはじめ、病院職員の皆さんによるミニコンサートやトーケイベンツなどたくさんのプログラムに多くの方が参加しました。初めてのチャリティーラッフル(募金くじ)も行い、ハウスについて知っていただく良い機会になりました。



なごやハウス

日時:11月6日(日)

募金総額:232,307円

来場者数:237名

オープンハウスは認知度向上を主な目的としていますが、「ボランティア交流の場」としてもとらえ、一堂に会することの少ないボランティアの方々にも出来るだけ多く参加してもらおうと企画し、今年は当日60名、前日の準備にも33名の参加がありました。



ふくおかハウス

日程:11月6日(日)

募金総額:207,692円

来場者数:280人

2度目となるオープンハウスに今年は出羽の海部屋にご協力いただきました。大きな体の力士たちが大きな鍋に部屋直伝のちゃんこを作つて、来場された地域のみなさんに振舞いました。力士がハウスを訪問するということでメディアの取材もあり、多くの方にふくおかハウスを知つていただきました。



せたがやハウス

日程:10月23日(日)

募金総額:515,843円

来場者数:482名

ハウス誕生15年という節目を迎、「ハウスに来て、観て、知って」をテーマに、近隣の幼稚園、保育園、絵画教室の子どもたちに、「みんなが元気になる家」の絵を書いてもらい、514枚の絵画を展示。また、ウォールペイントアーティストのロコサトシ氏を招き、当日集まった子ども達と一緒に大きなハウスの絵を描き、参加者全員でお祝いのセレモニーを行いました。



おおさか・すいたハウス

日程:10月30日(日)

募金総額:2,539,671円

来場者数:620名

3年後のハウス移転の周知と募金活動をメインに実施。今のハウスから新しいハウスへ「つなげよう支援の輪」をテーマに吹田市の移転支援寄附担当者にもご参加いただき、吹田市長をはじめ、吹田市議員の方々も応援にかけつけてくださるイベントとなりました。毎年の協力企業をはじめ、大阪府立北千里高校など地域とも連携して実施しました。



こうちハウス

日程:11月23日(祝)

募金総額:138,874円

来場者数:300名

ハウス利用者と同世代の親子を対象に開催しました。子どもが楽しめるように魚釣りゲーム、スタンプラリー、読み聞かせなどを行い、ハウスを知つていただきました。また高知新聞社のキャラクター「にゅーすけ」も来て、イベントを盛り上げてくれました。



とちぎハウス

日程:12月10日(土)

募金総額:305,303円

来場者数:260名

「とちぎハウスに行ってみよう」をテーマに開催。毎年大好評の支援企業の提供品によるチャリティービンゴ、募金をして参加する一般来場者によるリレーコンサートを実施し、昨年より多くの方に来場していただきました。



Report from Volunteers

海外ハウスレポート

現在、42の国と地域に365のハウスがあり、どのハウスも「わが家のようにくつろげる第二の家」をコンセプトにボランティアによって運営されています。

Austria<オーストリア>



創立25年を迎えるオーストリア・ウィーンのハウスの目の前には小児病院があり、さらに徒歩5分の距離にはウィーンでいちばん大きな総合病院があります。ベッドルームは15室あり、なんと3名のスタッフと30名程のボランティアで運営されています。ボランティア遠足というものがあり、街の歴史に詳しいボランティアの1人がハウス利用者そしてボランティアを連れてガイドツアーをし、交流をすることが目的のイベントです。日本のハウスにはない活動で面白いと感じました。

ハウスのスタッフに、なごやハウスで作っている「新聞紙を使った紙袋」や「キルト」の写真を見せたら、感動していたので、日本のハウスのアイディアもいろいろ海外のハウスでいかせるかもしれないと思いました。海外のハウスで経験したことを今後はなごやハウスの活動に生かしていきます。

なごやハウス ボランティア 畑下直



New Zealand<ニュージーランド>



ニュージーランド・オークランドで開催されたアジア、太平洋、中近東、アフリカ諸国とのハウス関係者が集まるコンベンションに参加した。220名が集い「共に学び共に強く」と交流を深めた。セッションでは、相手の期待値を超えたGreat experienceこそボランティアの神髄と学んだ。

ニュージーランドは自然環境豊かな国。オークランドのハウスも太陽の光があふれ、開放感いっぱいのパッシブハウスだ。ノーエアコンで50室100名が快適とは自然の力は凄い。各室もキッチンも日本の数倍は広い。こどもの学習面や遊び支援等の取組みも、実に多種多彩である。

道化師姿の女医さんと出会った。赤い鼻をつけ病室やハウス内を回り、子どもの笑顔を引き出す。治療を受けるストレスや不安を解消、治癒力をアップさせるクラウンドクターは何と頼もしい存在だ。

自然豊かな国の人々の優しさと、おおらかで明るい国民性。「眞の豊かさとは何か」を教わった。この貴重な体験を栄養とし、明朗闊達を心掛け日々の活動に生かしたい。

せんだいハウス ボランティア 櫻井光雄

Support from McDonald's

日本マクドナルド株式会社のサポート

全国のマクドナルド店舗にはドナルド・マクドナルド・ハウス募金箱を設置していただいてます。10月には募金箱のデザインを変更し、「はなればなれのわが子と一緒にいられる募金」としてリニューアルいたしました。多くの方にご協力いただき、**71,544,122円**の募金が集まりました。

また、マクドナルドの募金箱をフォーカスし、募金してくれた方々にドナルド・マクドナルド・ハウス利用者がお礼をつたえる「募金してくれてありがとう」というムービーを制作していただき、YouTubeを中心としたソーシャルとBSテレビでCMとして広告展開をしていただきました。あわせて新聞広告も出稿をしていただきドナルド・マクドナルド・ハウスの認知向上につなげていただきました。



12月2日～12月15日には、ドナルド・マクドナルド・ハウスへの10円募金を含んだハッピーセットクーポンを発行していただき、**1,464,050円**の募金が集まりました。



ボランティア活動費の助成

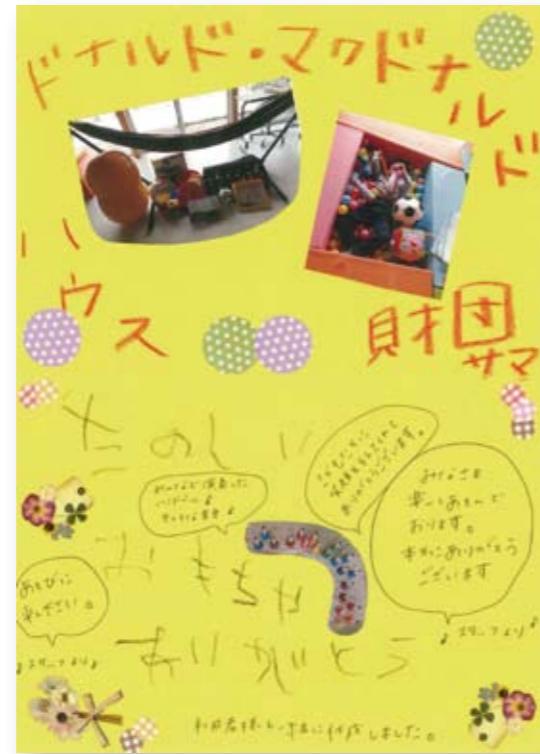
難病児およびその家族を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業として7団体に助成をしました。

助成先団体	助成金額
NPO 法人 Being ALIVE Japan	300,000 円
たんぽぽハウス運営委員会	300,000 円
N くらぶ（福島 NICU 親の会）	250,000 円
NPO 法人 ミューズの夢	200,000 円
特定非営利活動法人あいの実	150,000 円
一般社団法人パラ SC エスペランサ	80,157 円
子どものすい臓疾患 患者会「肺の会」	40,000 円
助成総額 1,320,157 円	

助成先からの報告

重症心身障がい児の子どもたちのために助成金をありがとうございました。いただいた助成金でおもちゃやCDを購入し子ども達は大喜びでした。買ったハンモックの中におもちゃを持ち込み心地よいものを子どもたちは感じたり、ゴムのおもちゃに触れ、握ったりしてワイワイキャッキャッはじけています。じっと同じ仕草を繰り返し、マーブルアートで遊んでいる子どももいて、すべてのものは療育にも良いこと間違いないです。子どもたちの心に皆様の愛情が響いたことと思います。とかく忘れがち、見落とされがちな重症心身障がい児に目を向けてください本当にありがとうございました。「重い障がいがあっても、笑顔で幸せに暮らすことができる、重い障がいを持った子どもがいても家族が未来を描ける」をモットーにこれからもなお一層、介護福祉の分野で地域社会の力になれるらと思っています。

特定非営利活動法人 あいの実



Financial Report

決算報告

正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
①財産運用収入 基本財産運用収入 特定資産運用収入	168,460 168,460 0	1,440,000 1,440,000 0	△ 1,271,540 △ 1,271,540 0
②ハウス事業収入 宿泊料収入 補助金収入 その他の収入	97,131,723 56,476,000 22,854,900 17,800,823	68,100,397 49,012,500 13,908,305 5,179,592	29,031,326 7,463,500 8,946,595 12,621,231
(1) 経常収益			
③寄附金収入 寄附金収入 募金収入	280,595,049 181,134,450 99,460,599	402,113,647 238,720,140 163,393,507	△ 121,518,598 △ 57,585,690 △ 63,932,908
④会費収入	6,612,000	6,539,000	73,000
⑤その他収入 配当金収入 雑収入	4,206,887 0 4,206,887	12,182,550 0 12,182,550	△ 7,975,663 0 △ 7,975,663
経常収益計	388,714,119	490,375,594	△ 101,661,475
①事業費 1. ハウス事業運営費 給料手当 光熱水料費 租税公課 減価償却費 その他の経費 事業関連経費	317,461,030 316,119,873 99,108,988 36,946,824 24,837,580 79,382,408 65,739,457 10,104,616	332,665,593 331,201,793 85,295,353 40,500,259 19,533,430 76,725,944 103,158,957 5,987,850	△ 15,204,563 △ 15,081,920 13,813,635 △ 3,553,435 5,304,150 2,656,464 △ 37,419,500 4,116,766
2. ボランティア事業 ボランティア助成費 旅費交通費 会議費	1,341,157 1,320,157 21,000 0	1,463,800 1,442,800 21,000 0	△ 122,643 △ 122,643 0 0
(2) 経常費用			
②管理費 役員報酬 給料手当 旅費交通費 会議費 通信運搬費 減価償却費 消耗品費 印刷製本費 催事費 諸謝金 租税公課 雑費	85,070,215 10,310,912 33,794,543 4,258,564 273,594 39,087 87,594 11,420,410 8,626,856 8,059,548 1,584,724 0 6,614,383	163,133,018 6,887,424 31,573,391 4,575,125 418,500 22,070 944,431 86,337,843 3,097,440 16,576,768 1,446,032 3,351,600 7,902,394	△ 78,062,803 3,423,488 2,221,152 △ 316,561 △ 144,906 17,017 △ 856,837 △ 74,917,433 5,529,416 △ 8,517,220 138,692 △ 3,351,600 △ 1,288,011
経常費用計	402,531,245	495,798,611	△ 93,267,366
当期経常増減額	△ 13,817,126	△ 5,423,017	△ 8,394,109
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券評価益 経常外収益計	0 0	0 0	0 0
(2) 経常外費用			
有価証券評価損 指定正味財産への振替額	0 0	0 0	0 0
経常外費用計 当期経常外増減額	0 0	0 0	0 0
当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高	△ 13,817,126 2,377,836,597 2,364,019,471	△ 5,423,017 2,383,259,614 2,377,836,597	△ 8,394,109 △ 5,423,017 △ 13,817,126

指定正味財産増減の部

一般正味財産からの振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	522,680,900	522,680,900	0
指定正味財産期末残高	522,680,900	522,680,900	0
正味財産期末残高	2,886,700,371	2,900,517,497	△ 13,817,126

貸借対照表

		平成28年12月31日現在 (単位:円)			
科 目		当年度	前年度	増 減	
I 資産の部	(1) 流動資産	現金 普通預金 郵便貯金 未収金	2,491,963 115,730,380 134,021,103 0	2,053,205 83,883,123 130,885,533 0	438,758 31,847,257 3,135,570 0
		流動資産合計	252,243,446	216,821,861	35,421,585
	(2) 固定資産	基本財産 基本財産定期預金 基本財産土地 基本財産合計	300,000,000 222,680,900 522,680,900	300,000,000 222,680,900 522,680,900	0 0 0
		特定資産 ハウス建設積立資金 特定資産合計	0 0	0 0	0 0
		その他の固定資産 建物 構築物 什器備品 ソフトウェア 電話加入権 建設仮勘定 定期預金 投資有価証券	2,063,052,377 22,815,753 27,471,250 0 76,440 0 0 0	2,131,116,419 24,585,167 25,379,012 87,594 76,440 864,000 0 0	△ 68,064,042 △ 1,769,414 2,092,238 △ 87,594 0 △ 864,000 0 0
		その他の固定資産合計	2,113,415,820	2,182,108,632	△ 68,692,812
		固定資産合計	2,636,096,720	2,704,789,532	△ 68,692,812
		資産合計	2,888,340,166	2,921,611,393	△ 33,271,227
	II 負債の部	(1) 流動負債	未払金 預り金	0 1,639,795	20,124,530 969,366 670,429
		流動負債合計	1,639,795	21,093,896	670,429
		(2) 固定負債	固定負債合計	0	0
		負債合計	1,639,795	21,093,896	670,429
III 正味財産の部	①指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	522,680,900 (522,680,900)	522,680,900 (522,680,900)	0	0
	②一般正味財産 (うち基本財産への充当額) (うち特定資産への充当額)	2,364,019,471 0 0	2,377,836,597 0 0	△ 13,817,126	
	正味財産合計	2,886,700,371	2,900,517,497	△ 13,817,126	
	負債及び正味財産合計	2,888,340,166	2,921,611,393	△ 13,146,697	

財産目録

		平成28年12月31日現在 (単位:円)			
科 目		金額			
I 資産の部	(1) 流動資産	現金預金 現 金 普通預金	現金手許有高 みずほ銀行新宿都心支店 みずほ銀行成城支店 社の都信用金庫宮城町支店 四国銀行高須支店 りそな銀行千里北支店 足利銀行自治医大出張所 三井住友銀行麹町支店 北海道銀行新川中央支店 多摩信用金庫西国分寺支店 東京都民銀行春日支店 三菱東京UFJ銀行鶴舞支店 福岡銀行香椎支店 東京スター銀行本店営業部 ゆうちょ銀行018店 みずほ銀行銀座支店	2,491,963 1,344,363 53,636 16,248 1,636 39,481 6,820 112,376,760 81,708 6,228 337 35 30,471 796 163,334 1,608,527 134,021,103	
		郵便貯金			
		流動資産合計		252,243,446	
		①基本財産 定期預金 土地 基本財産合計	みずほ銀行銀座支店 東京都世田谷区大蔵	300,000,000 222,680,900 522,680,900	
		②特定資産 特定資産合計	ハウス建設積立資金 定期預金 ハウス建設積立資金 普通預金	*1 0 *1 0	
		③その他の固定資産	建 物 構 築 物 什 器 備 品 ソ フ ト ウ ェ ア 電 話 加 入 権 建 設 仮 勘 定	*1 2,063,052,377 *1 22,815,753 *1 27,471,250 0 76,440 *1 0	
		その他の固定資産合計	2,113,415,820		
		固定資産合計	2,636,096,720		
		資産合計	2,888,340,166		
	II 負債の部	(1) 流動負債	未払金 預り金 流动負債合計	*2 0 *2 1,639,795	
		負債合計		1,639,795	
		正味財産			2,886,700,371

※1… 公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。 ※2… 流動資産に対応する負債。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

その他の有価証券 … 決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

建物、構築物、什器備品及びソフトウェア … 定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
● 基本財産 土地 定期預金	2,222,680,900 300,000,000	0 0	0 0	2,222,680,900 300,000,000
小 計	522,680,900	0	0	522,680,900
● 特定資産 ハウス建設積立資金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	522,680,900	0	0	522,680,900

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
● 基本財産 土地 定期預金	222,680,900 300,000,000	(222,680,900) (300,000,000)	0 0	0 0
小 計	522,680,900	(522,680,900)	0	0
● 特定資産 ハウス建設積立資金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	522,680,900	(522,680,900)	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,690,175,694	627,123,317	2,063,052,377
構 築 物	43,432,718	20,616,965	22,815,753
什 器 備 品	117,290,863	89,819,613	27,471,250
ソ フ ト ウ ェ ア	12,552,440	12,552,440	0
合 計	2,863,451,715	750,112,335	2,113,339,380

5. 补助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
● 基本財産 補助金(R M H C) 補助金(自治医大) 補助金(吹田市) 補助金(好仁会) 補助金(高知県)	0 0 0 0 0	15,972,000 1,869,000 2,645,900 1,000,000 1,368,000	15,972,000 1,869,000 2,645,900 1,000,000 1,368,000	0 0 0 0 0
合 計	0	22,854,900	22,854,900	0

監査報告書
会員財産法人 デナルド・マクドナルド・ハラス チャーリィオーナ・ジル・C 監事会 副会長 三島 錠
平成28年1月17日
会員財産法人 デナルド・マクドナルド・ハラス チャーリィオーナ・ジル・C 監事会 副会長 三島 錠
監査報告書
(1) 合併監査について。財産運営に財産の状況などを必要とする監査手続きを用いて、財産運営が正しく実行されていると認めた。
(2) 著重監査について。機関会員及びその他の会員の監査を実行して、監査結果から監査の範囲を縮め、監査結果の確認など必要とする監査手続きを利用して監査執行の妥当性を認めた。
(3) 監査の範囲執行に関する付帯注釈は監査報告書に記載する旨を了承したと認めた。
監査の範囲執行に関する付帯注釈は監査報告書に記載する旨

Board of Directors, Councilors and Selection Members

役員・選考委員名簿

役職	氏名	所属
理事長	柳澤 正義	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 名誉総長
専務理事	廣瀬 修	社会福祉法人恩賜財団済生会 評議員
常務理事	木村 恵美子	常勤
理事	村上 陽一郎	東京大学・国際基督教大学 名誉教授
	鶴橋 誠一	スターゼン株式会社 代表取締役会長
	ティム・ブレット	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長（元環境事務次官）
	小関 誠	AIU損害保険株式会社 代表取締役社長兼CEO
	安田 智彦	フジパングループ本社株式会社 代表取締役社長
	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
	宮原 道夫	森永乳業株式会社 代表取締役社長
	下平 篤雄	日本マクドナルド株式会社 代表取締役副社長兼最高執行責任者(COO)
	長瀬 淑子	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 初代事務局長
監事	二村 隆章	公認会計士
	玉置 良光	公認会計士
評議員	西村 由美子	オガストネットワークインク 代表
	残間 里江子	プロデューサー
	ジェフリー・マクニール	Market Makers Inc. 代表取締役社長
	宮田 佳代子	フリーキャスター
	後藤 亘	株式会社エフエム東京 名誉相談役
	大熊 由紀子	国際医療福祉大学大学院 教授
	南 砂	読売新聞東京本社 取締役 調査研究本部長
	桃井 真里子	国際医療福祉大学 副学長
	好本 一郎	長谷川ホールディングス株式会社 代表取締役社長
	門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科 教授
	佐藤 仁志	日本マクドナルドホールディングス株式会社 代表取締役 上席執行役員
	河野辺 孝則	日本マクドナルド株式会社 マーケティング本部 ナショナルマーケティング部 上席部長
選考委員	丸木 一成	国際医療福祉大学 常務理事
	栗山 真理子	NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 専務理事
	阪井 裕一	埼玉医科大学総合医療センター 小児科診療部長 教授
	小見山 智恵子	東京大学医学部附属病院 看護部長

(2017年2月現在)

Supporters

サポーター紹介

Bronze Sponsor

秋山 裕一	柴田 一生	長谷川 博亮
株式会社アグレッシブスタッフ	昭和フード株式会社	株式会社はまだ
一般社団法人潮寿会	ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会	原本 俊則
あさがお有志一同	シンコー株式会社	菱沼 秀仁
株式会社朝日サービス	菅野 健	株式会社ビッグタイム
朝日サービスチャリティーイベント2016	株式会社スコレ	平田 宇一郎
アツヴィ合同会社	鈴木 明	廣瀬 修
有限会社アバンシング	鈴木 誠一	ヒロフーズ株式会社
株式会社アビリティ	有限会社ステイブル	株式会社ファミリー
株式会社阿部内装	株式会社スペースエム	株式会社フォーティー・エス
株式会社アムズ	株式会社セブン	ファンテラジャパン株式会社
株式会社アメリカ	医療法人社団そらまめの会	株式会社不二興産
株式会社アルゴ	いえどみ内科胃腸科クリニック	株式会社ヘルス
有限会社アルファイン	第一生命労働組合 札幌総合営業職支部	北東 哲也・美苗・澪
株式会社イーストボルトジャパン	第一生命労働組合 道央営業職支部	星野 悅子
イワイ マサト	武田 真一	北海道フランチャイジー ドナルドハウス
岩崎 典子・真菜	田代 希子	チャリティーゴルフ大会
上杉 雅之	田中 敏克	本坊 雄一
上野 潤子	田中 久則	前田 盛
株式会社ヴォイスワーク	玉井 宏明	マクドナルド埼玉オーナー会
鵜飼 正俊	堤 厚誌	マクドナルド兵庫山陰FCオーナー会
内海 修	株式会社デサキ	まなみ薬局
エーオンジャパン株式会社	株式会社電通	三井 隆司
岡林 義廣・和子	土井 英史	株式会社宮崎
落合 裕一	東讃興業株式会社	宮下 建治
カゴメ株式会社	合名会社徳永商店	株式会社ムラオ商事
片川 薫	都市クリエイト株式会社	村尾 好明
有限会社要製作所	栃木県軽自動車協会	株式会社明成
河野辺 孝則	富永 浩	メロディアン株式会社
北大阪清掃株式会社	富安 成子	株式会社やひめ
北田 善保	鳥潟 美夏子	株式会社山全フーズ
有限会社キノシタ	ナイトボランティア♡こやま	株式会社山中
木下 弘	中井 里奈	山本 博三
木村 恵美子	長井 正	山元 徹
久米 利雄	中浦 雅子	山本 光雄・礼子
有限会社クラッチ	中尾 聰	株式会社遊
クローバー薬局吹田店	長坂 肇	読売巨人軍
株式会社ケイエスアイ	長嶋 達也	楽天イーグルス赤見内銀次
ケリー岐部	長瀬 淑子	楽天イーグルス枡田慎太郎後援会
小泉清則法律事務所	中野 悅子	学校法人龍馬学園
株式会社甲輝	西田 省三・紀子	渡辺 優
NPO法人小江戸大江戸トレニックワールド	日世株式会社	Andrew Hipsley
古賀 正人	株式会社日本栄養給食協会	Canadian Academy
埼玉養蜂株式会社	株式会社ニュートラル	Ernest and Sarah Casanova
坂井 邦裕・史夏・聖子	株式会社布屋	Huhtamaki Hong Kong Ltd.
坂本 雄次	野中 圭樹	Robert Larson
佐々木 琢磨	野村 臣英	UCC上島珈琲株式会社
株式会社札幌フードシステムズ	株式会社ハーベスト	
佐藤 仁志	株式会社バイタルネット	
佐藤 明	橋本 良男	
重富 孝成	長谷川 敏英	

(50音順)

Sponsor

Platinum Sponsor



Gold Sponsor



PGF生命
Prudential プレデンシャル ジブリタル ファイナンシャル生命

 **THE LEGEND**
CHARITY PRO-AM TOURNAMENT



Silver Sponsor

アクアクララ レモンガス
グループ



 上尾いの子の空そらクリニック

Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO

株式会社アドバンス

アボットジャパン
株式会社



生田 有吾

上田 真



ACNジャパン

岡崎南
上地眼科クリニック

株式会社オカダ



Cargill®

CARPE DIEM
BRAZILIAN JIU-JITSU



クオリティフーズ
株式会社

一般財団法人
敬愛まちづくり財団



札幌アカシア
ライオンズクラブ

シオノギ社会貢献
支援会

ジボダン ジャパン
株式会社







 東京都民銀行

株式会社ドリーム

 日鉄住金物産株式会社

日本マクドナルド
オーナーオペレーター会

Neolive

深堀 圭一郎

 株式会社富士エコー

有限会社
ベルエキップ

有限会社
ホット・ショット

マクドナルド
中部ブロックオーナー会

マナトレーディング
株式会社

 MITSUI & CO.

 morinaga

 UNITED

 Rose Packing Company est. 1924



公益財団法人Dナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階

TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198

www.dmhcj.or.jp